

## 令和元年度公益財団法人岡山県動物愛護財団事業実績書

(単位：円)

事業名	事業の概要	事業費
1 啓発事業	<p>1 講習会活動事業</p> <p>(1) 犬のしつけ方教室 正しい犬のしつけ方や基礎的なしつけ方の訓練を飼い犬とともに行った。</p> <p>(2) 犬の飼い方講習会 ペットの高齢化に関する相談、実技(犬のしつけ方)等を実施して、飼い主と飼い犬との良好な関係を保ち、地域の人達に親しまれる犬の育成を図り、動物愛護と適正な飼養の普及を図った。</p> <p>2 動物愛護推進事業</p> <p>(1) 動物とのふれあい教室 動物愛護センターに訪れた小学校児童・幼稚園児・保育園児・家族連れを対象に、また、幼稚園等に出向き、動物愛護の大切さを知ってもらうとともに、犬等とのふれあいを図った。</p> <p>(2) 犬・猫の譲渡会 収容された犬・猫の中から、人に順応できる犬・猫について、事前に講習会を受講した希望者に譲渡した。</p> <p>(3) 動物愛護週間関連事業 動物愛護週間を中心に、動物愛護センター、岡山、赤磐、高梁、真庭、津山、井笠の各会場において、獣医師会等との共催により、犬のしつけ方教室、動物ふれあい教室、図画・塗り絵展、相談コーナー等を開催し、動物愛護の啓発を行った。</p> <p>(4) ボランティアの募集及び育成・管理 ボランティア(ボランティア犬飼い主を含む)を希望する個人及び団体を募集し、趣旨に賛同する者に対して登録を行うと共に研修会を開催した。</p> <p>(5) 北広場(ドッグラン)の運営 犬を放して遊ばせるドッグランの利用促進に努めた。</p> <p>(6) 親子向けイベントの開催 親子を対象としてペーパークラフトによる動物づくり体験教室等を開催した。</p> <p>(7) 譲渡犬の里帰り交流会 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。</p> <p>(8) 譲渡猫写真展の開催 譲渡猫の愛されている様子の写真を通して、動物愛護の啓発を行った。</p> <p>(9) 地域猫活動講習会の開催 一般県民を対象として地域猫活動理解を深めてもらうための講習会を開催した。</p> <p>(10) 公開セミナーの開催 犬・猫の高齢化が進む中で、終生飼養の必要性等を説いたセミナーを開催した。</p> <p>3 動物愛護組織の育成 「ふれあい動物友の会」の会員募集と会報「しっぽ通信」の発行を行った。</p> <p>4 広報活動</p> <p>(1) ポスターの掲示 動物愛護精神の高揚を図るため、保健所・市町村・動物病院等にポスターの掲示を依頼し、普及啓発を図った。</p> <p>(2) 啓発資料の作成 リーフレット、テキストブック、子ども用啓発資料、啓発パネル等を作成し、犬のしつけ方教室、犬の飼い方講習会、動物愛護週間行事など各種啓発事業に活用した。</p> <p>(3) ホームページの拡充 各種イベントの案内、犬・猫の譲渡に関する情報等の提供を行った。</p> <p>(4) 広報誌の発行 動物愛護や各種イベントに関する情報を掲載した「動物愛護センターだより」を発行し、岡山県各出先機関、市町村及び関係機関に配付した。</p>	27,772,120
2 助成金交付事業	<p>飼い犬又は飼い猫に不妊去勢手術を実施する県民に対して、その手術費の一部を助成することにより、犬・猫の不幸な命を増やさないようにし、人と動物が共存できる豊かな地域社会の実現を図った。</p>	1,525,737
3 相談事業	<p>1 電話・メール等による「動物なんでも相談」を行った。</p> <p>2 犬・猫の適正飼養および不妊去勢の啓発 動物愛護センターへ搬入される犬・猫の絶対数の減少に努めるとともに、不妊去勢手術を奨励し、動物愛護思想の啓発を行った。</p>	234,812
4 調査研究事業	<p>動物愛護や適正飼養にかかる調査研究のため、各種DVD及び図書等を計画的に整備充実するとともに、整備した資料については、ふれあい動物友の会会員に貸出しを行った。</p>	488,542
5 収益事業	<p>愛護館利用者を対象に動物用グッズの販売を行った。</p>	133,873
6 財団法人の管理運営	<p>財団の組織充実と体制整備のための事業並びに管理運営を行った。</p>	1,496,009
	合 計	31,651,093

令和元年度公益財団法人岡山県動物愛護財団貸借対照表及び正味財産増減計算書

1 貸借対照表

令和2年3月31日現在 (単位：円)

科 目	金 額		
	元 年 度	3 0 年 度	増 △ 減
<b>資 産 の 部</b>			
<b>1 流 動 資 産</b>			
現金預金	9,225,146	8,707,778	517,368
商 品	174,685	175,378	△ 693
<b>流動資産合計</b>	<b>9,399,831</b>	<b>8,883,156</b>	<b>516,675</b>
<b>2 固 定 資 産</b>			
(1) 基本財産			
投資有価証券		100,000,000	△ 100,000,000
定期預金	100,000,000		100,000,000
<b>基本財産合計</b>	<b>100,000,000</b>	<b>100,000,000</b>	
(2) 特定資産			
普通預金	1,571,395	1,035,459	535,936
<b>特定資産合計</b>	<b>1,571,395</b>	<b>1,035,459</b>	<b>535,936</b>
(3) その他固定資産			
什 器 備 品	2,862,975	2,534,975	328,000
什器備品減価償却累計	△ 2,548,980	△ 2,406,560	△ 142,420
電話加入権	30,000	30,000	
投資有価証券		565,910	△ 565,910
定期預金	18,800,000		18,800,000
<b>その他固定資産合計</b>	<b>19,143,995</b>	<b>724,325</b>	<b>18,419,670</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>120,715,390</b>	<b>101,759,784</b>	<b>18,955,606</b>
<b>資 産 合 計</b>	<b>130,115,221</b>	<b>110,642,940</b>	<b>19,472,281</b>
<b>負 債 の 部</b>			
<b>3 流 動 負 債</b>			
未 払 金	1,153,638	1,010,699	142,939
<b>流動負債合計</b>	<b>1,153,638</b>	<b>1,010,699</b>	<b>142,939</b>
<b>負 債 合 計</b>	<b>1,153,638</b>	<b>1,010,699</b>	<b>142,939</b>
<b>正味財産の部</b>			
<b>4 一 般 正 味 財 産</b>			
(うち基本財産への充当額)	128,961,583 (100,000,000)	109,632,241 (100,000,000)	19,329,342
<b>正味財産合計</b>	<b>128,961,583</b>	<b>109,632,241</b>	<b>19,329,342</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>130,115,221</b>	<b>110,642,940</b>	<b>19,472,281</b>

2 正味財産増減計算書

自 平成31年4月1日  
至 令和2年3月31日(単位：円)

科 目	金 額		
	元 年 度	3 0 年 度	増 △ 減
<b>一般正味財産増減の部</b>			
<b>1 経常増減の部</b>			
(1) 経常収益			
イ 基本財産運用益			
基本財産受取利息	750,000	1,500,000	△ 750,000
ロ 受取会費			
正会員受取会費	1,277,000	1,261,000	16,000
特別会員受取会費	500,000	360,000	140,000
ハ 事業収益			
販売収益	180,550	193,980	△ 13,430
ニ 受取補助金等			
受取地方公共団体受託金	28,580,648	28,061,000	519,648
ホ 受取寄附金			
受取寄附金	629,369	373,443	255,926
ヘ 手数料			
手数料	52,500		52,500
ト 雑収益			
受取利息	237	161	76
雑収益		183,693	△ 183,693
<b>経常収益計</b>	<b>31,970,304</b>	<b>31,933,277</b>	<b>37,027</b>

科 目	金 額		
	元 年 度	3 0 年 度	増 △ 減
<b>(2) 経常費用</b>			
イ 事業費			
給料手当	13,403,525	13,460,400	△ 56,875
臨時雇賃金	1,714,200	1,777,650	△ 63,450
福利厚生費	2,703,145	2,751,057	△ 47,912
研修費	37,220	20,690	16,530
諸謝金	60,000	84,920	△ 24,920
役務費	273,078	303,037	△ 29,959
旅費交通費	34,950	26,400	8,550
通信運搬費	1,389,600	1,336,092	53,508
需用費	90,386	109,778	△ 19,392
消耗品費	2,691,377	2,209,605	481,772
印刷製本費	4,390,329	4,738,066	△ 347,737
負担金	520,000	520,000	
賃借料	452,214	419,050	33,164
保険料	101,820	141,900	△ 40,080
租税公課	1,206,500	1,122,100	84,400
備品費	132,000	55,000	77,000
教材費	161,918	145,341	16,577
助成費	472,000	493,000	△ 21,000
減価償却費	135,299	33,565	101,734
手数料	51,650		51,650
ロ 管理費			
給料手当	643,200	640,000	3,200
福利厚生費	104,183	103,319	864
会議費	765	2,353	△ 1,588
旅費交通費	55,320	68,200	△ 12,880
需用費	210,040	220,702	△ 10,662
備品費			
印刷製本費	23,498	30,024	△ 6,526
渉外費	7,550	5,000	2,550
租税公課			
役務費	443,639	427,248	16,391
販売品仕入費	134,566	157,263	△ 22,697
減価償却費	7,121	1,767	5,354
雑費		194,943	△ 194,943
<b>経常費用計</b>	<b>31,651,093</b>	<b>31,598,470</b>	<b>52,623</b>
投資有価証券評価損益等		△ 42,710	42,710
<b>評価損益等計</b>		<b>△ 42,710</b>	<b>42,710</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>319,211</b>	<b>292,097</b>	<b>27,114</b>
<b>2 経常外増減の部</b>			
(1) 経常外収益			
投資有価証券売却益	19,010,131		19,010,131
過年度損益修正益			
経常外収益計	19,010,131		19,010,131
(2) 経常外費用			
固定資産減損損益			
経常外費用計			
<b>当期経常外増減額</b>	<b>19,010,131</b>		<b>19,010,131</b>
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>19,329,342</b>	<b>292,097</b>	<b>19,037,245</b>
<b>一般正味財産期首残高</b>	<b>109,632,241</b>	<b>109,340,144</b>	<b>292,097</b>
<b>一般正味財産期末残高</b>	<b>128,961,583</b>	<b>109,632,241</b>	<b>19,329,342</b>
<b>指定正味財産増減の部</b>			
指定正味財産期首残高			
指定正味財産期末残高			
<b>正味財産期末残高</b>	<b>128,961,583</b>	<b>109,632,241</b>	<b>19,329,342</b>

令和2年度 公益財団法人岡山県動物愛護財団 事業計画書

(単位：千円)

事業名	事業の概要	事業費
1 啓発事業	1 講習会活動事業 (1) 犬のしつけ方教室を開催する。 (2) 犬・猫の飼い方講習会を開催する。 2 動物愛護推進事業 (1) 動物ふれあい教室を開催する。 (2) 犬・猫の譲渡会を開催する。 (3) 動物愛護週間事業を実施する。 (4) ボランティアの募集及び育成・管理を行う。 (5) ドッグランの利用を促進する。 (6) 親子を対象とした物づくり教室等を開催する。 (7) 譲渡した犬と飼い主を対象とした里帰り交流会を開催する。 (8) 譲渡猫写真展を開催する。 (9) 犬・猫の終生飼養の必要性等を説いた公開セミナーを開催する。 3 動物愛護組織の育成 「ふれあい動物友の会」の会員募集を行う。 4 広報活動 (1) 犬・猫の正しい飼育管理等の啓発資料を作成し、動物愛護の普及啓発を行う。 (2) ホームページを拡充し、各種イベントの案内・申込み、各種情報の授受を行う。 (3) 定期広報誌を発行する。	27,152
2 助成金交付事業	飼い犬又は飼い猫に不妊去勢手術を実施する県民に対して、その手術費の一部を助成することにより、犬・猫の不幸な命を増やさないようにし、人と動物が共存できる豊かな地域社会の実現を図る。	2,442
3 相談事業	「動物なんでも相談」事業を実施する。	366
4 調査研究事業	動物愛護や適正飼養に係る調査研究のために、各種DVD及び図書等を計画的に整備充実するとともに、整備した資料については、ふれあい動物友の会会員に貸出しを行う。	489
5 収益事業	愛護館利用者を対象に動物用グッズの販売を行う。	190
6 公益財団法人の管理運営	財団の組織充実と体制整備のための事業及び管理運営を行う。	1,855
	合 計	32,494

令和2年度 公益財団法人岡山県動物愛護財団 収支予算書

(単位：千円)

科 目	2年度	元年度	増△減
<b>一般正味財産増減の部</b>			
<b>1 経常増減の部</b>			
(1) 経常収益			
イ 基本財産運用益			
基本財産受取利息	290	1,500	△ 1,210
ロ 受取会費			
正会員受取会費	1,280	1,280	
特別会員受取会費	500	400	100
ハ 事業収益			
販売収益	160	160	
ニ 受取補助金等			
受取地方公共団体受託金	28,326	28,269	57
ホ 受取寄附金			
受取寄附金	150	150	
手数料	63	55	8
ヘ 雑収益			
受取利息	3	1	2
経常収益計	30,772	31,815	△ 1,043
(2) 経常費用			
イ 事業費			
給与手当	13,407	13,800	△ 393
賃金	2,088	1,788	300
福利厚生費	2,751	2,649	102
研修費	50	150	△ 100
諸謝金	50	60	△ 10
役務費	429	419	10
旅費交通費	100	100	
通信運搬費	1,150	1,080	70
需用費	163	163	
消耗品費	2,072	2,142	△ 70
印刷製本費	4,840	4,864	△ 24
負担金	570	620	△ 50
賃借料	388	388	
保険料	137	137	
租税公課	1,071	1,071	
備品費	100	200	△ 100
教材費	160	150	10
助成費	740	740	
手数料	63	55	8
減価償却費	120	31	89
ロ 管理費			
給与手当	680	676	4
福利厚生費	109	109	
会議費	30	30	
旅費交通費	130	130	
需用費	294	320	△ 26
備品費	100	100	
印刷製本費	30	30	
渉外費	20	20	
租税公課	10	20	△ 10
役務費	450	424	26
減価償却費	2	2	
雑費用	190	180	10
経常費用計	32,494	32,648	△ 154
当期経常増減額	△ 1,722	△ 833	△ 889
<b>当期一般正味財産増減額</b>	△ 1,722	△ 833	△ 889
一般正味財産期首残高	107,671	108,504	△ 833
一般正味財産期末残高	105,949	107,671	△ 1,722
<b>正味財産期末残高</b>	105,949	107,671	△ 1,722